

滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの沿革

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター



琵琶湖流域の水質・生態系の保全・再生

環境リスクの低減

持続可能な社会の構築

(水質) - 琵琶湖等水環境のモニタリング - 琵琶湖流域管理システムの構築 - 面源負荷が琵琶湖水質に及ぼす影響の把握 - 環境負荷軽減を図るための森林管理方法の検討 - 琵琶湖の生態系レジームシフト (生態系) - 地域特性に基づく生物多様性保全手法の構築	(水質) - 琵琶湖流域管理システムの精度向上 - 面源負荷量の把握とその削減対策 - 水質汚濁メカニズムの解明 - 内部負荷による湖内水質変動の解析 (生態系) - 湖岸生態系の保全・修復、管理	(水質・生態系) - 水・生物・暮らしの「つながり」の再生 - 琵琶湖における新たな水質指標 - 北湖深水層と湖底環境の把握 - 南湖生態系の順応的管理方法 - プランクトンの季節的遷移と水質評価手法	(水質・生態系) - 在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究（生息環境、餌環境） - 北湖深水層と湖底環境の評価 - 生物多様性の保全と推進方策の検討 (森林) - 森林の適切な管理方策	(水質・生態系) - 在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究（沿岸、流域環境、物質循環） - 底層溶存酸素濃度の評価手法の構築 - 生物多様性の保全・再生 - 水草管理による生態系再生 (森林) - 森林の適切な管理方策	(水質・生態系) - 在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究（沿岸、流域環境、物質循環） - 底層溶存酸素濃度の変動把握、消費因子の解析 - 生物多様性の保全・再生 - 南湖の湖底環境の把握 (森林) - 森林の保全、管理、多様な価値の整理・分析
(大気・水・土壌環境のモニタリング) 微量化学物質の初期リスク評価	(大気・水・土壌環境のモニタリング) 光化学オキシダントの動態把握	(大気・水・土壌環境のモニタリング) - 大気降下物の解析、化学物質の分析手法検討 - 放射性物質にかかるリスクコミュニケーション	(大気・水・土壌環境のモニタリング) - PM2.5等の移流影響、化学物質の総量リスク評価手法の検討 - 放射性物質の拡散シミュレーション	(大気・水・土壌環境のモニタリング) - PM2.5等の濃度変動把握 - 緊急事故対応の基盤構築	(大気・水・土壌環境のモニタリング) - 光化学オキシダント等の濃度変動要因 - 緊急時の化学物質調査手法の検討
(持続可能な社会の構築) 定量的な将来社会像作成のための統合評価モデルの開発、将来社会像の提案	(持続可能な社会の構築) 将来社会像実現のためのロードマップの作成手法の開発、政策手法の検討	(持続可能な社会の構築) 地域課題解決型再生可能エネルギーの普及シナリオの作成	(持続可能な社会の構築) - 人々が感じる豊かさ指標の作成 - 将来社会像の実現手法の検討	(持続可能な社会の構築) 将来社会像実現への障壁の整理、社会実装支援、進捗管理手法の開発	(持続可能な社会の構築) 2050年CO₂ネットゼロ、気候変動への適応を目指した将来社会像の作成
第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期

1980

1990

2005

2008

2011

2014

2017

2020

昭和57年(1982年)
滋賀県琵琶湖研究所設置

昭和52年(1977年)
滋賀県立衛生環境センター開設
(現：滋賀県衛生科学センター)

昭和48年(1973年)
滋賀県森林センター開設

平成17年(2005年)
「滋賀県琵琶湖環境科学研究センター」開設

滋賀県琵琶湖研究所 および
滋賀県立衛生環境センター(環境部門)の統合

平成26年(2014年)
「琵琶湖環境研究推進機構」創設

平成27年(2015年)
水質実験調査船「びわかぜ」
運用開始

平成26年(2014年)
滋賀県森林センター
(試験研究部門)を移管

平成29年(2017年)
国立研究開発法人国立環境研究所
琵琶湖分室の設置



昭和44年(1969年)
「滋賀県公害防止条例」制定

昭和54(1979年)
「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」制定

平成9年(1997年)
「滋賀県環境総合計画」策定

平成5年(1993年)
琵琶湖が「ラムサール条約」の登録湿地に認定

平成6年(1994年)
琵琶湖の水位が観測史上最低水位(基準値から-123cm)以降、南湖の水草増加



平成12年(2000年)
「マザーレイク21計画」策定

平成16年(2004年)
「琵琶湖森林づくり条例」制定



平成20年(2008年)
「持続可能な滋賀社会ビジョン」策定



平成23年(2011年)
「低炭素社会づくりの推進に関する条例」制定
「マザーレイク21計画」第2期改定



平成27年(2015年)
「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」の制定
「生物多様性しが戦略」策定



令和元年(2019年)
「第五次滋賀県環境総合計画」策定
「滋賀県気候変動適応センター」の設置



令和2年(2020年)
「“しがCO₂ネットゼロ”ムーブメント」キックオフ宣言

令和元年、2年(2019年、2020年)
2年続けて琵琶湖北湖で全層循環未完了
底層D0の低下